

VOYAGE
GROUP

東証一部 3688

2017年9月期通期 決算説明資料

2017年10月25日

アジェンダ

01	2017年9月期 連結決算の概要	P 3
02	主要事業の概況	P 17
03	中期経営目標	P 31
04	2018年9月期 連結業績予想	P 37
05	参考資料	P 41

アジェンダ

01	2017年9月期 連結決算の概要	P 3
02	主要事業の概況	P 17
03	中期経営目標	P 31
04	2018年9月期 連結業績予想	P 37
05	参考資料	P 41

2017年9月期通期 ハイライト（対前期）

売上高	258.9 億円	前期比	+24.2 %
売上総利益	80.1 億円	前期比	+24.8 %
営業利益	18.0 億円	前期比	+5.0 %
のれん償却前営業利益	20.3 億円	前期比	+8.4 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	11.6 億円	前期比	+58.7 %

- ☑ 積極的に先行投資を進めつつも、主力事業であるアドプラットフォーム事業が順調に業容を拡大し、前期比で増収増益。売上高は過去最高を更新。
- ☑ 2016年10月に動画アドプラットフォームのCMerTV社をグループ化。
- ☑ 2017年9月期の期末配当を1株当たり10円から15円へ増配。

2017年9月期通期 ハイライト（対業績予想）

2017年4月に上方修正した業績予想どおりに着地。

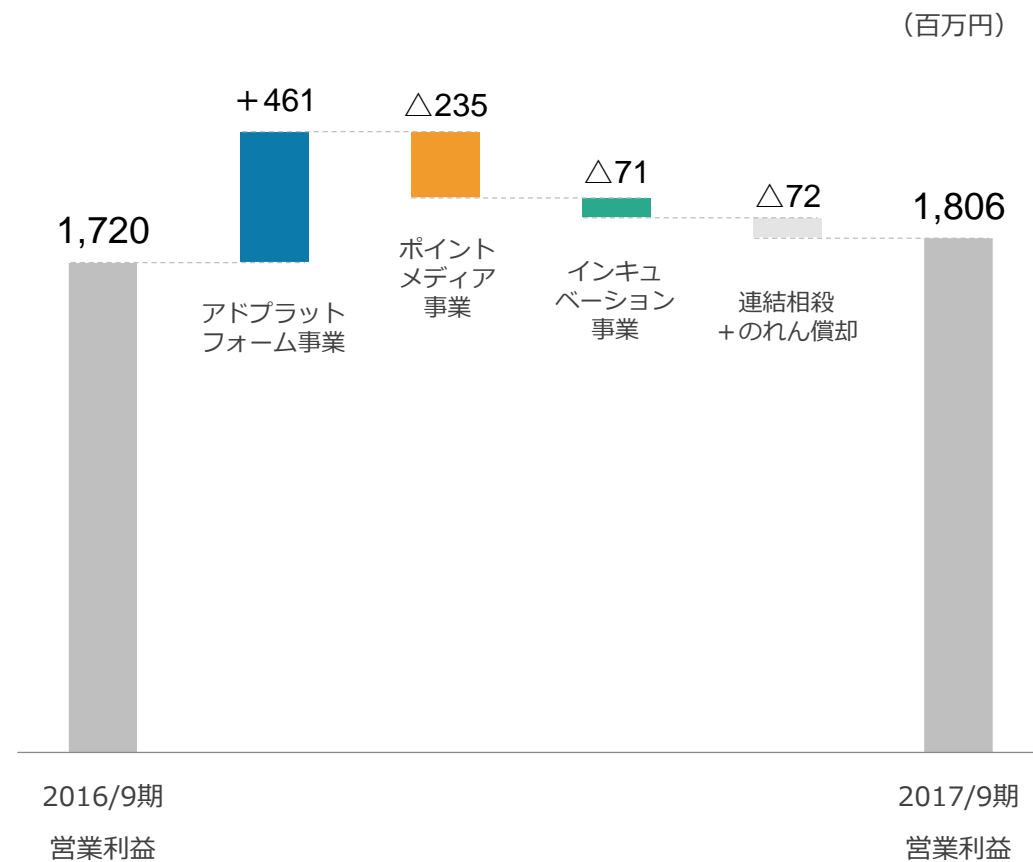
（百万円）

	2017年9月期		
	修正業績予想	実績	
売上高	25,000	25,895	+3.6 %
営業利益	1,800	1,806	+0.4 %
経常利益	1,800	1,861	+3.4 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,100	1,161	+5.6 %

2017年9月期通期 ハイライト（事業別）

主力事業であるアドプラットフォーム事業が順調に増収増益となり、売上高183億円、営業利益は17億円、前期比では4.6億円の増益となった。

	(百万円)		
	2016年9月期	2017年9月期	増減額
売上高	20,841	25,895	+5,053
アドプラットフォーム事業	13,031	18,314	+5,282
ポイントメディア事業	5,933	5,745	△189
インキュベーション事業	2,175	2,081	△94
連結相殺	△298	△246	+52
営業利益	1,720	1,806	+85
アドプラットフォーム事業	1,239	1,701	+461
ポイントメディア事業	644	410	△235
インキュベーション事業	△5	△76	△71
のれん償却費	△159	△231	△72



自己株式の取得及び消却について

当社では株主への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、事業成長や資本効率の改善等による中長期的な株主価値の向上に努めるとともに、継続的な配当及び機動的な自己株式取得を実施していくことを株主還元の基本方針としております。

この基本方針に基づき、株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため、自己株式の取得及び消却を行うことを決定いたしました。

■取得の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	500,000株（上限）（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合4.10%）
株式の取得価額の総額	500百万円（上限）
取得期間	2017年10月26日から2018年1月31日まで
取得方法	自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付

■消却の内容

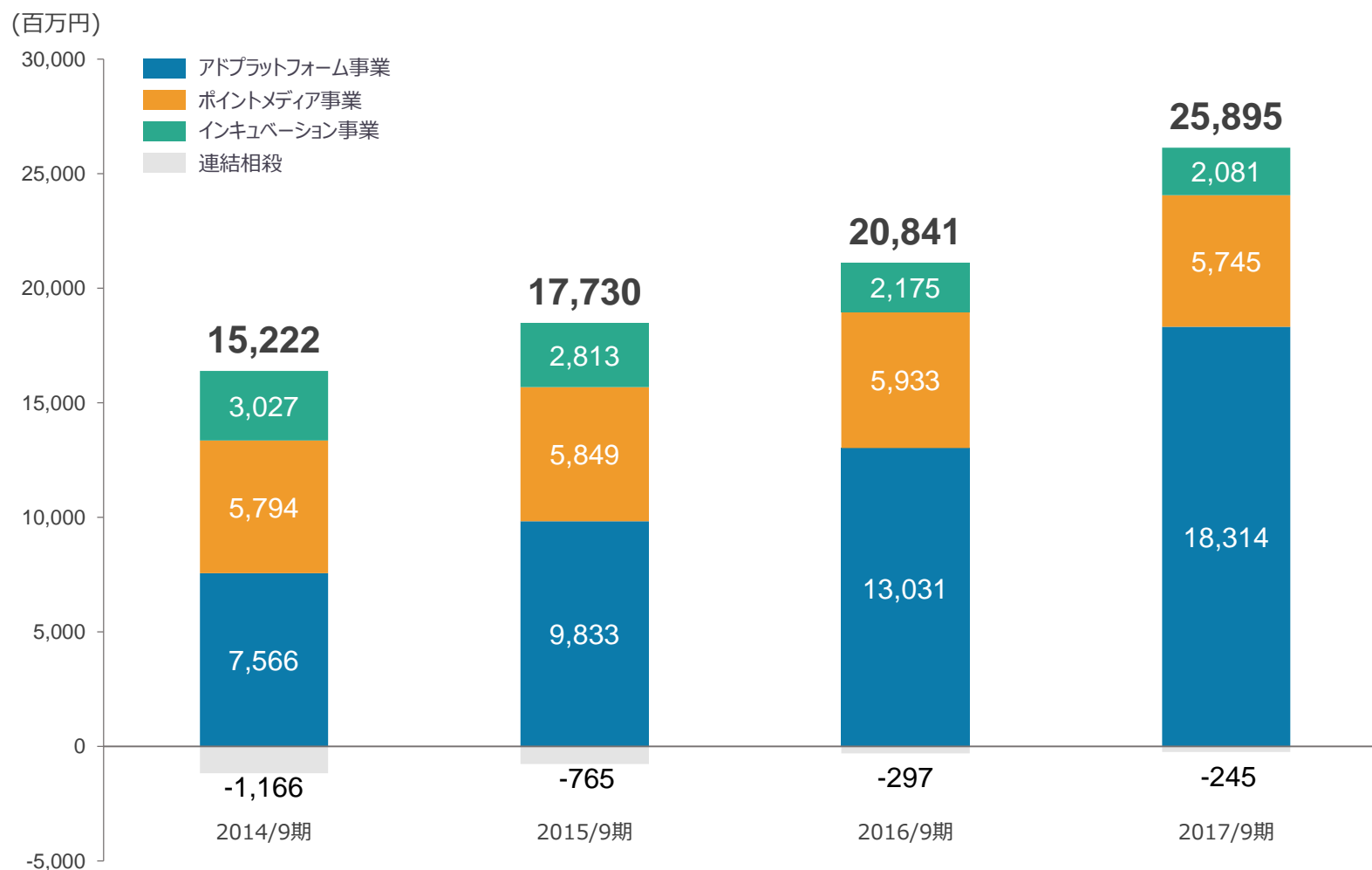
消却する株式の種類	当社普通株式
消却する株式の内容	現在保有する自己株式100,047株及び上記により取得した自己株式の全数
消却予定日	2018年2月28日

（参考）2017年9月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く）	12,193,253株
自己株式数	100,047株

連結売上高 通期推移

創業以来18年連続で増収となり、過去最高を更新。
特にアドプラットフォーム事業の売上高は前期比40%増となり、全体の7割に。



売上高

258.9 億円

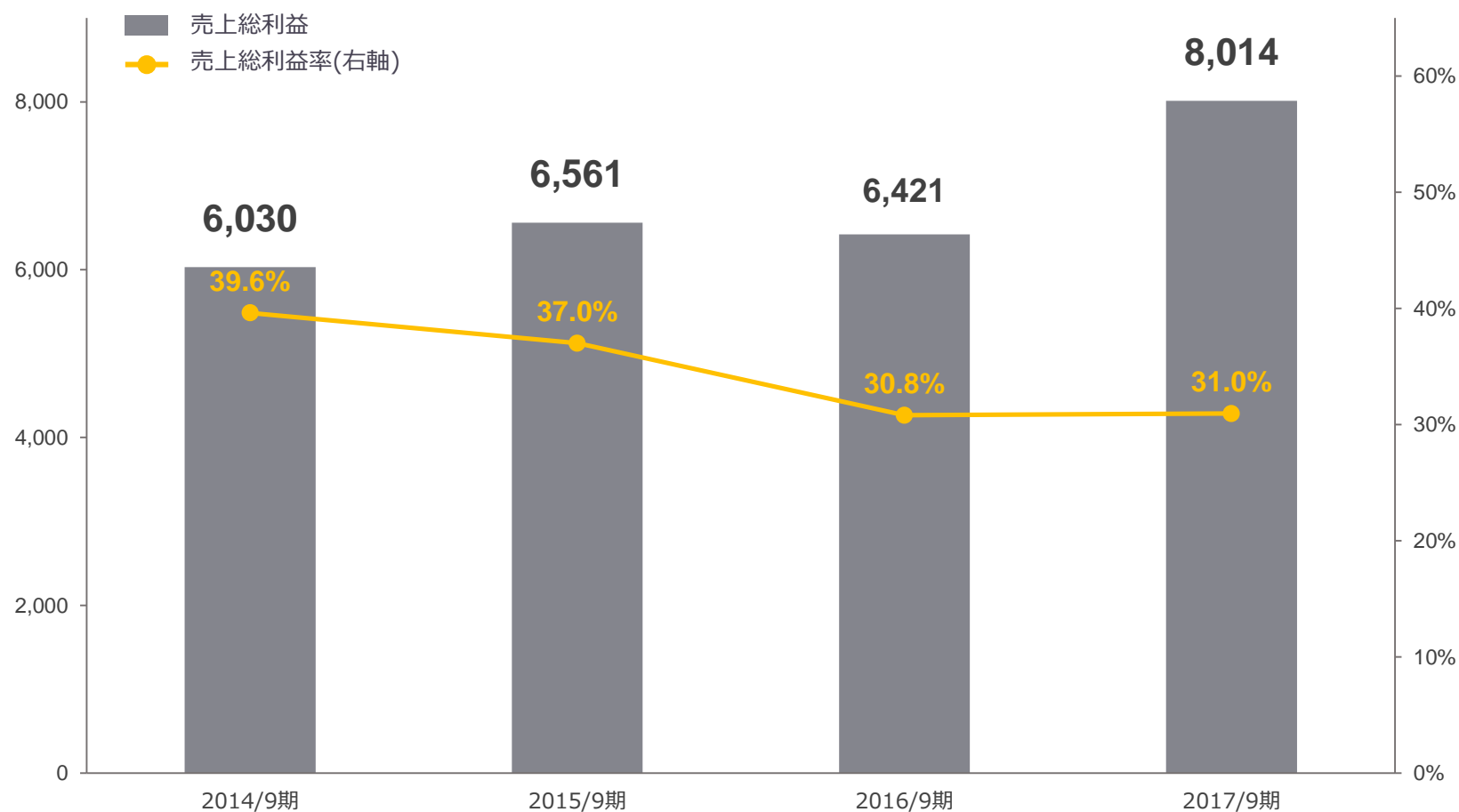
前期比

+24.2 %

連結売上総利益 通期推移

売上高の拡大に伴い、売上総利益も前期比24.8%と順調に増加し、過去最高を更新。

(百万円)



売上総利益

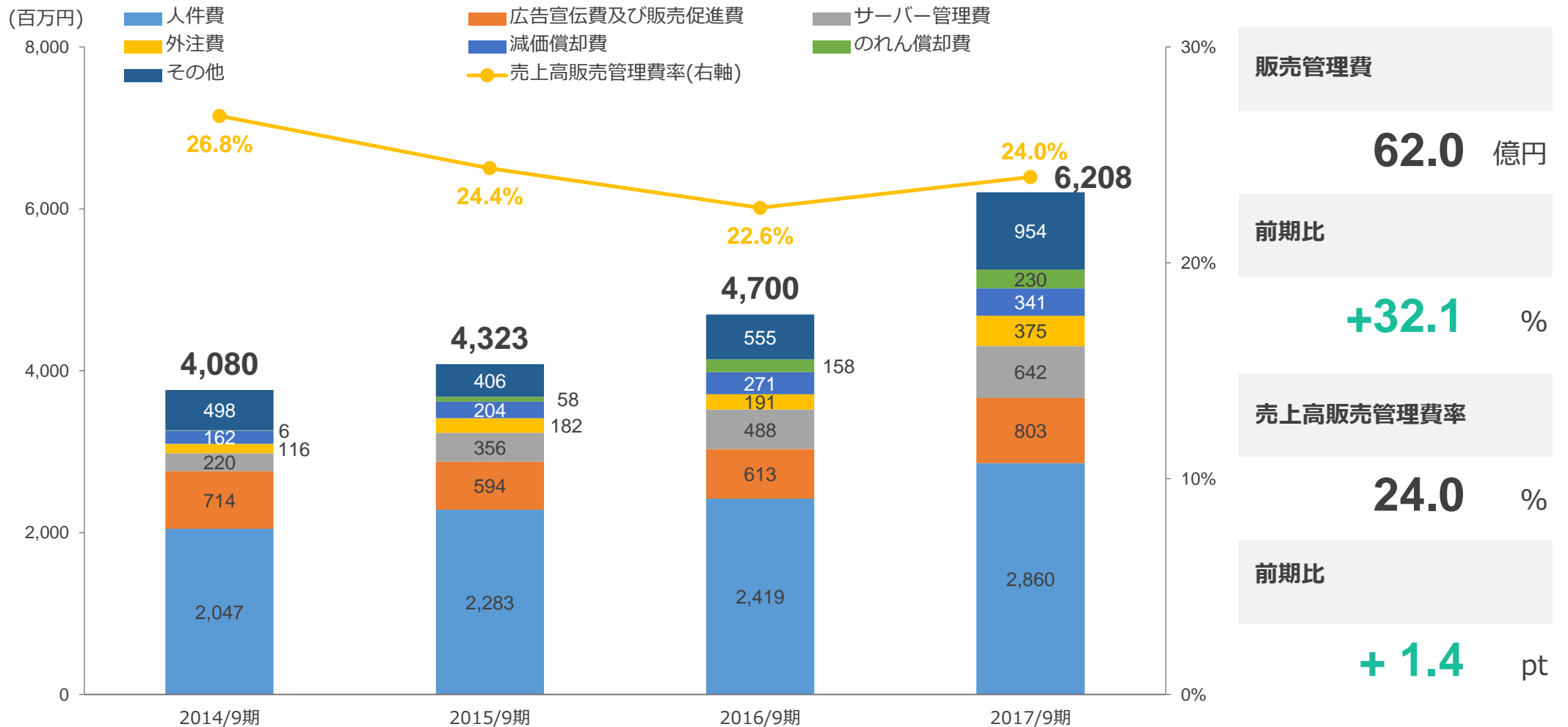
80.1 億円

前期比

+24.8 %

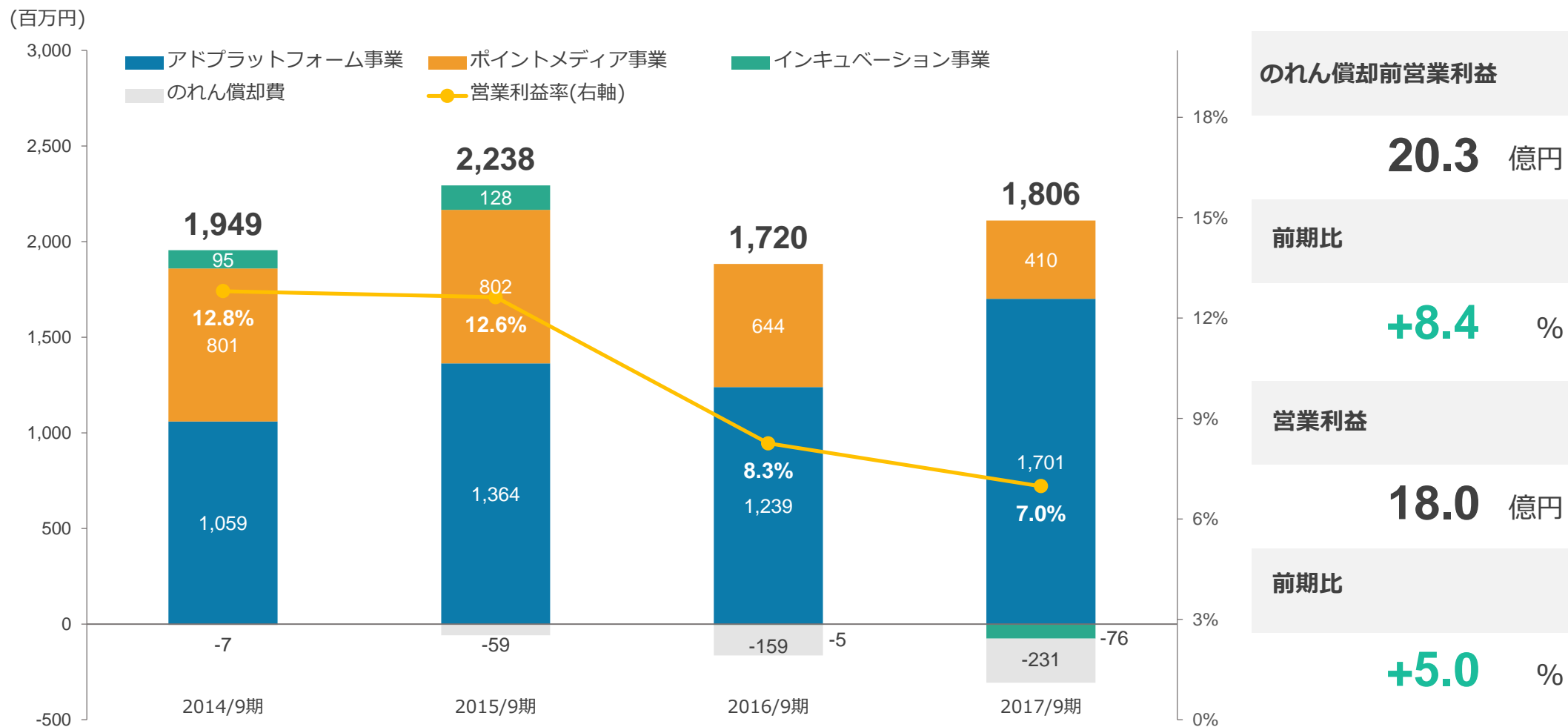
連結販売管理費 通期推移

事業成長に伴い人件費、外注費、サーバー管理費等を中心に増加。
また積極的な先行投資により広告宣伝費及び販売促進費は前期比で1.9億円の増加。



連結営業利益 通期推移

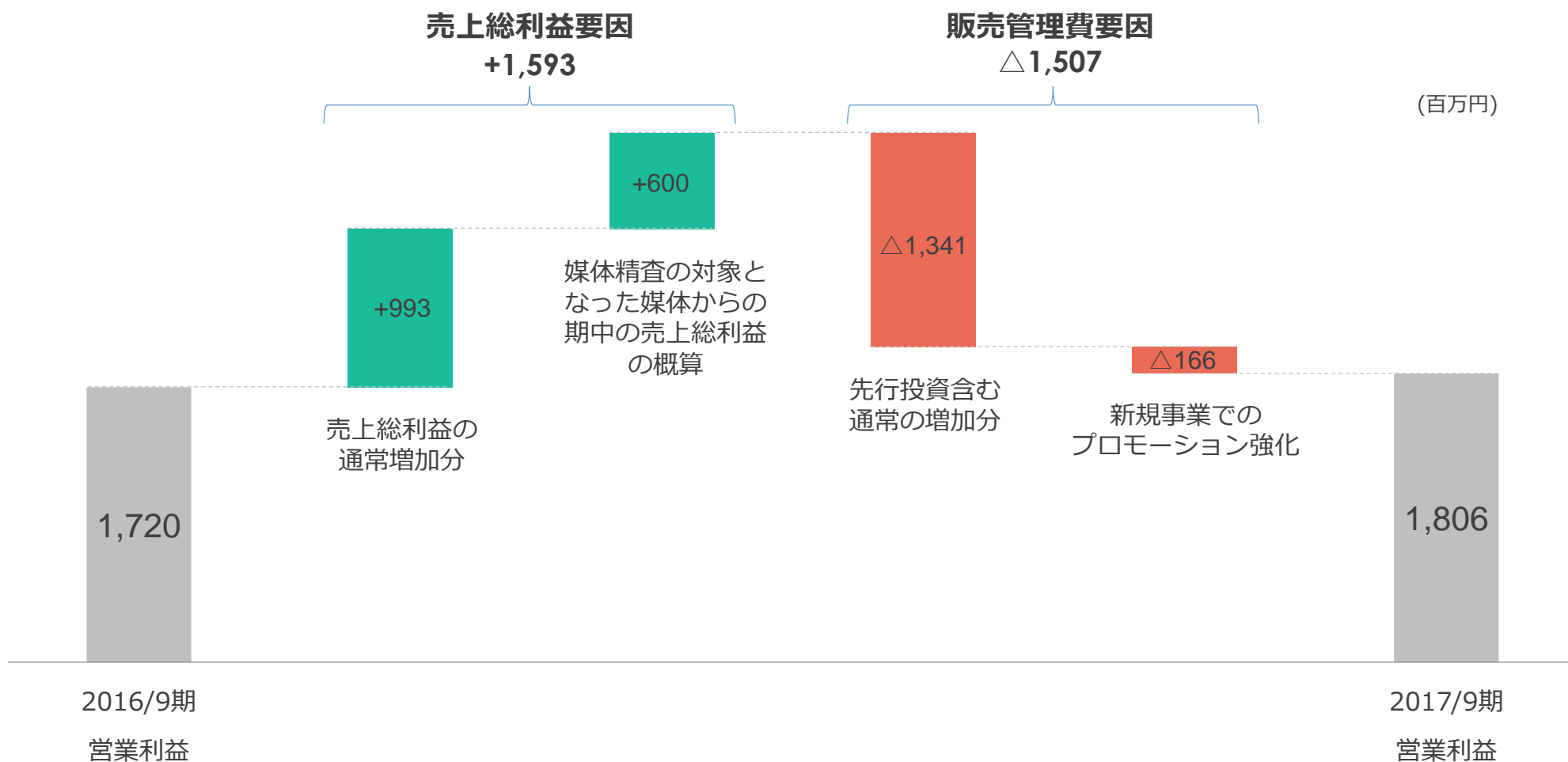
先行投資を進めるも、アドプラットフォーム事業の営業利益が順調に伸長し、連結営業利益は前期比で増益。



連結営業利益（対前期）

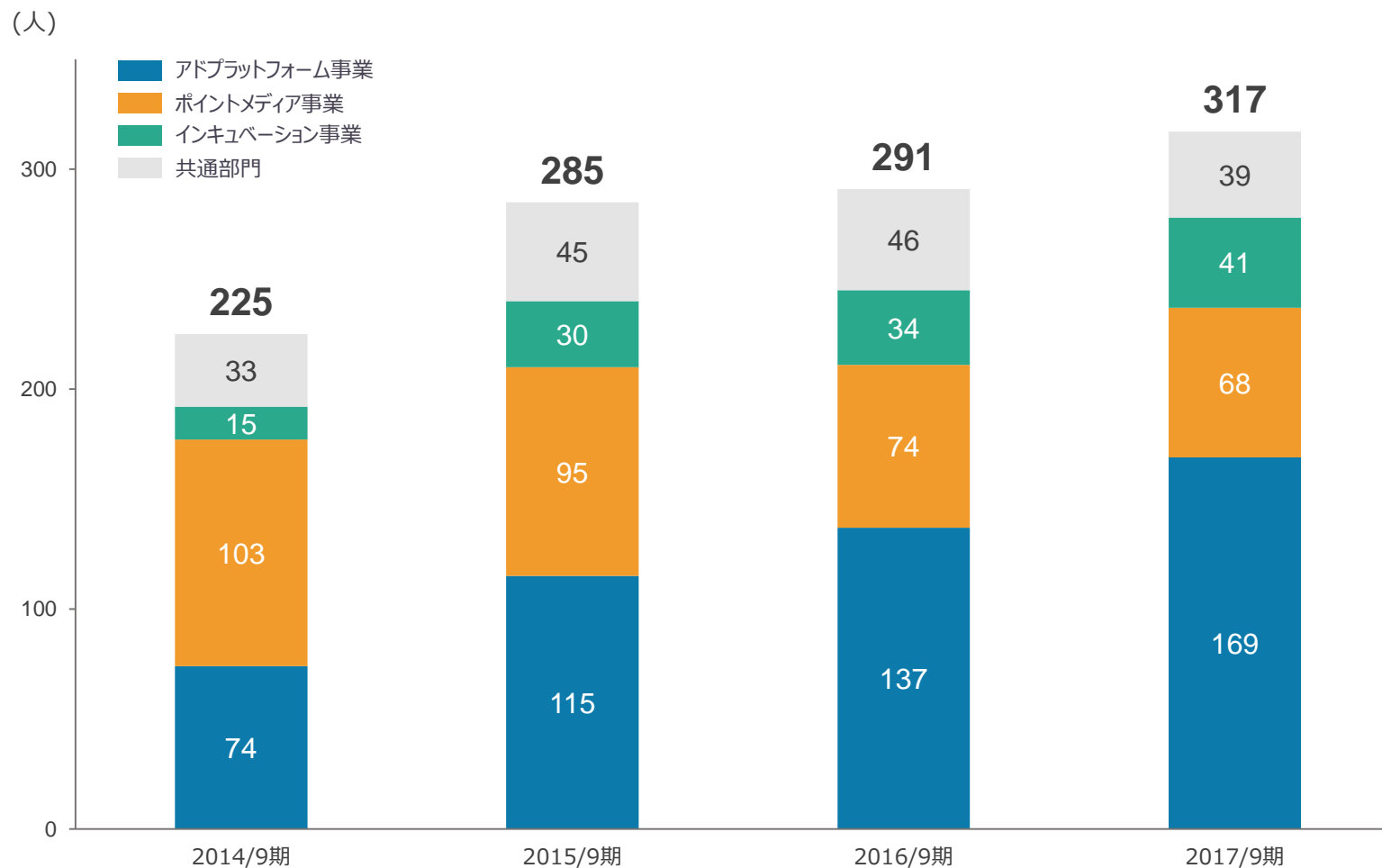
売上総利益は、期中にアドプラットフォーム事業において行った媒体精査※の対象となった媒体からのものも含めて15.9億円の増加となった。一方で販売管理費は、先行投資や新規事業でのプロモーションを強化しつつも15.1億円の増加に留まり、営業利益は18.0億円と増益となった。

※健全なアドプラットフォームの構築を目的として、広告効果の低い一部の媒体との取引について見直しを実施。

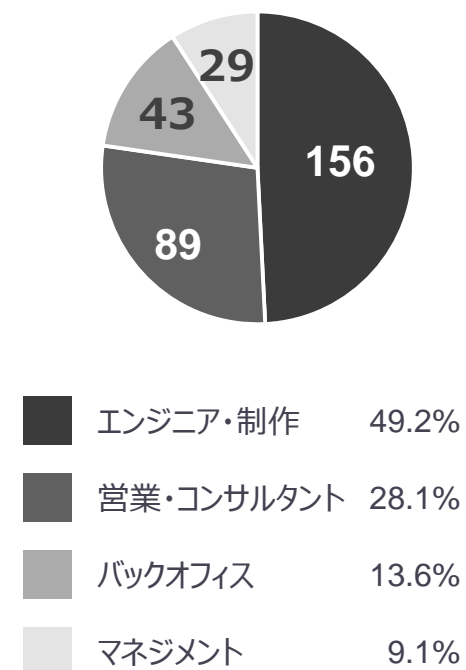


連結従業員数（セグメント別従業員数推移）

CMerTV社のグループ化等により前期比で26名の増員。
グループ内での異動を促進させ、成長分野へ優先的にリソース配分。



職種別内訳
(2017年9月末時点)



※従業員数は、臨時雇用者を含まない数値。
※2014年9月期は、海外リサーチ事業の従業員64名を含まない数値。

連結損益計算書

(百万円)

	2017年9月期 2016年10月～2017年9月	2016年9月期 2015年10月～2016年9月	前期比	コメント
売上高	25,895	20,841	+24.2%	
売上総利益	8,014	6,421	+24.8%	※1 為替差益66百万円の計上等。
販売費及び一般管理費	6,208	4,700	+32.1%	
営業利益	1,806	1,720	+5.0%	※2 持分法適用関連会社であるMomentum社の株式
営業外収益	※1 93	25	+263.9%	譲渡益153百万円の計上、出資先ファンドの投
営業外費用	37	※4 500	△92.5%	資先企業の株式公開に伴う売却分配金40百万円 の計上等。
経常利益	1,861	1,246	+49.4%	※3
特別利益	※2 280	73	+280.1%	アドプラットフォーム事業内における組織再編
特別損失	※3 283	61	+360.8%	に伴うゴールドスポットメディア社に関するの れん減損損失252百万円の計上等。
税金等調整前当期純利益	1,859	1,258	+47.7%	
法人税等	710	593	+19.7%	※4
非支配株主に帰属する当期純損失	△13	△67	—	持分法投資損失330百万円、為替差損154百万円 の計上等。(前期要因)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,161	731	+58.7%	

連結貸借対照表

(百万円)

(百万円)	2017年9月期 2017年9月末	2016年9月期 2016年9月末	前期末差	主な増減要因
流動資産	9,577	7,361	+2,216	-
うち現金及び預金	5,445	3,111	+2,334	利益計上による増加と、CMerTV社の株式取得による減少。
固定資産	6,198	5,176	+1,022	投資有価証券の増加。
総資産	15,775	12,537	+3,238	-
流動負債	6,931	5,538	+1,392	買掛金、未払法人税等の増加。
うちポイント引当金	2,751	2,704	+46	-
固定負債	730	666	+64	-
純資産	8,113	6,332	+1,781	当期純利益計上による増加と、その他有価証券評価差額金の増加。
負債及び純資産	15,775	12,537	+3,238	-

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2017年9月期 2016年10月～2017年9月	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,184	税金等調整前当期純利益の計上及び減価償却費の計上による増加。
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,002	CMerTV社の株式取得、敷金及び保証金の差入による減少。
財務活動によるキャッシュ・フロー	105	長期借入れによる増加、長期借入金の返済による減少での変動。
現金及び現金同等物の期末残高	5,445	

アジェンダ

01		2017年9月期 連結決算の概要	P 3
02		主要事業の概況	P 17
03		中期経営目標	P 31
04		2018年9月期 連結業績予想	P 37
05		参考資料	P 41

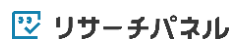
主要事業の概況

アドプラットフォーム事業を中心に、ポイントメディア事業、インキュベーション事業を事業展開。

アドプラットフォーム事業



ポイントメディア事業



インキュベーション事業

EC領域

HR領域

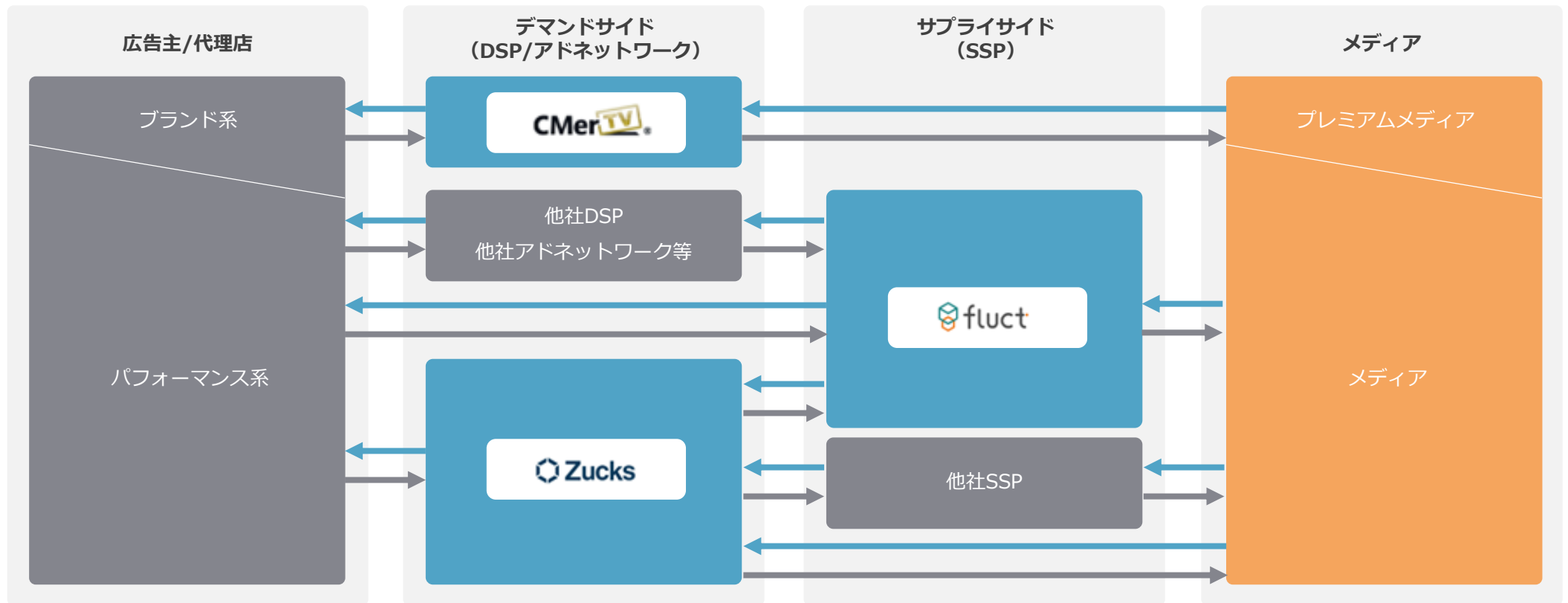
FinTech領域

アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業のビジネスモデル

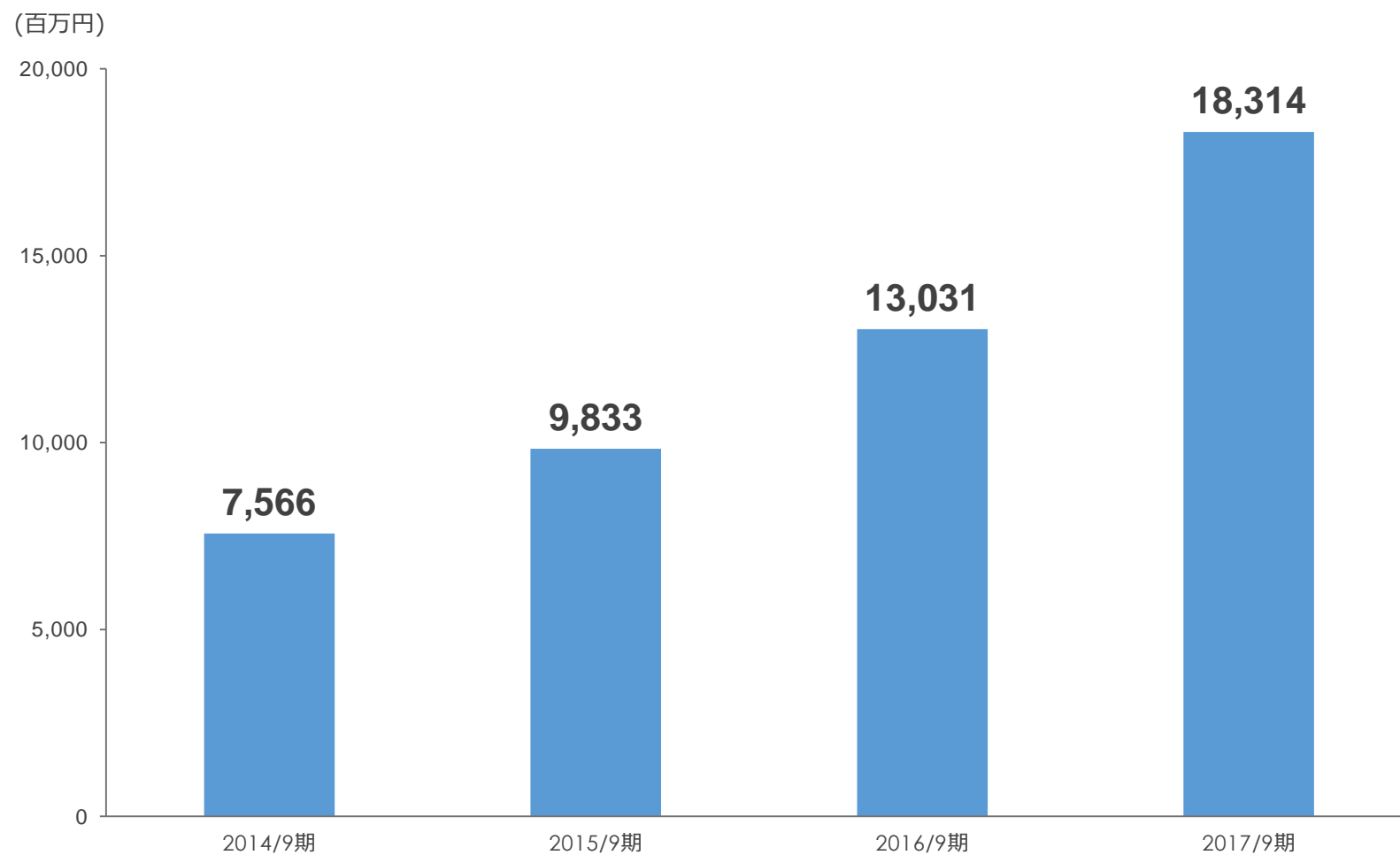
SSP「fluct」、スマートフォンアドネットワーク「Zucksアドネットワーク」などを運営。2016年10月より動画アドプラットフォームの「CMerTV」を連結子会社化。

← 広告掲載の流れ ← 広告費の流れ



アドプラットフォーム事業 売上高推移

売上高は、前期比で40.5%の増収、183億円と過去最高を更新。



売上高

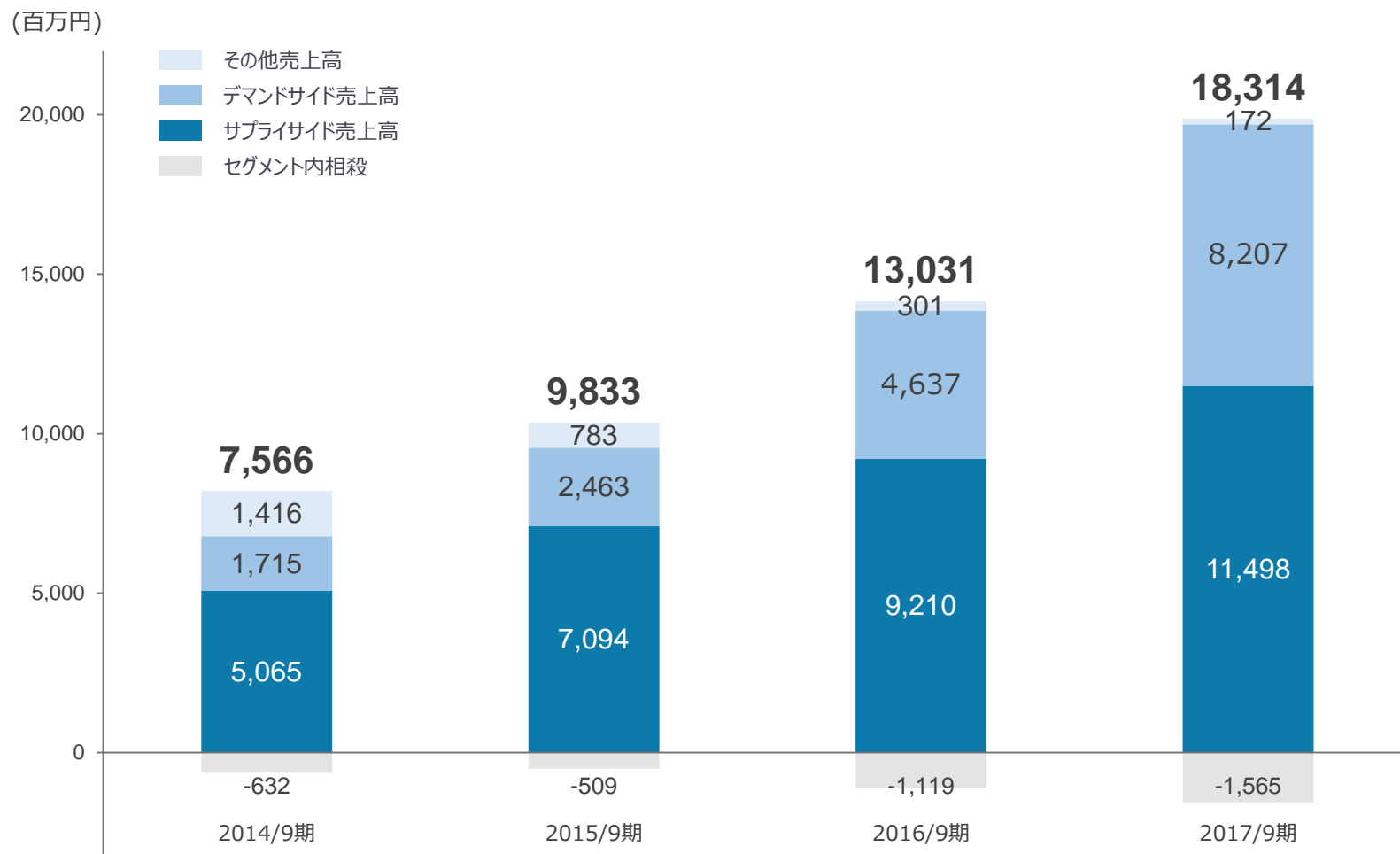
183.1 億円

前期比

+40.5 %

アドプラットフォーム事業 売上構成推移

サプライサイドはスマホ向けSSPが順調に成長し前期比24%増と過去最高を更新。
 デマンドサイドはZucksアドネットワークが大きく伸長し前期比77%増と過去最高を更新。



サプライサイド売上高

114.9 億円

前期比

+24.8 %

デマンドサイド売上高

82.0 億円

前期比

+77.0 %

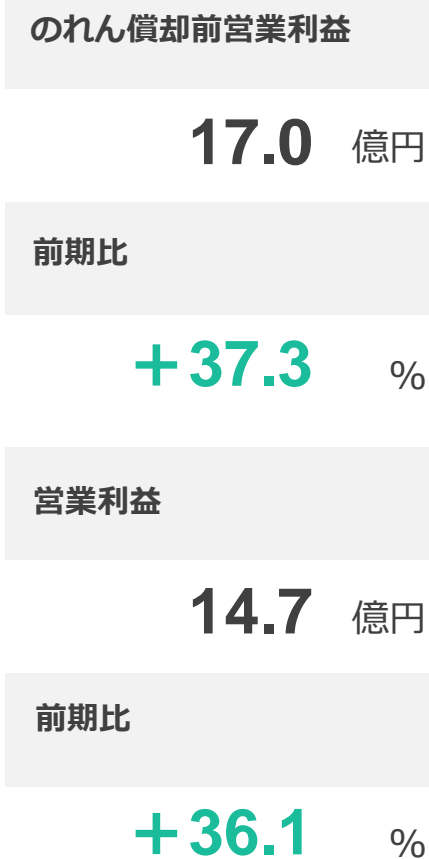
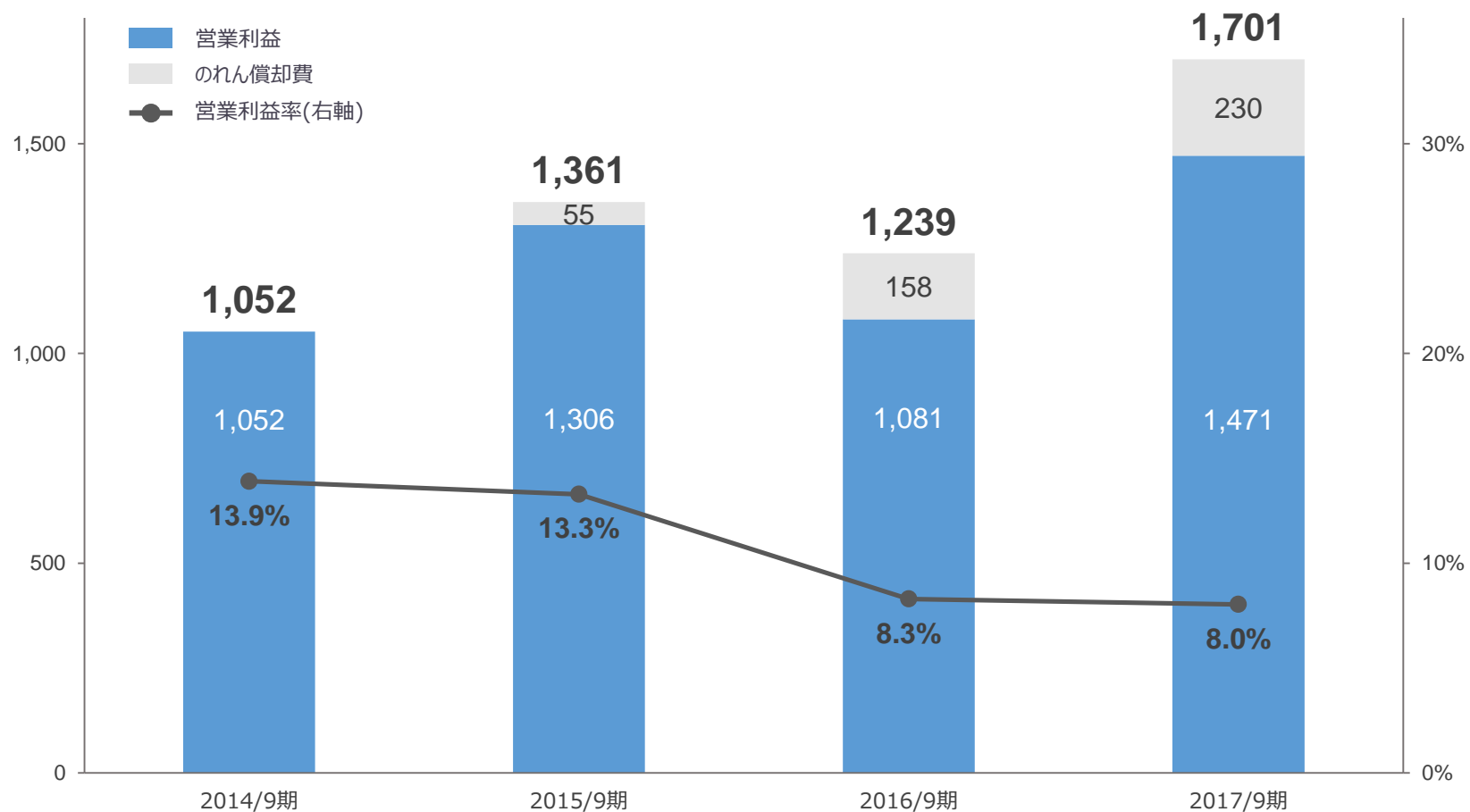
※サプライサイド売上高：「SSP fluct」及び「ゴールドスポットメディア」等の合算値。

※デマンドサイド売上高：「Zucksアドネットワーク」、「Zucksアフィリエイト」、「CMerTV」及び「intelish」等の合算値。

アドプラットフォーム事業 営業利益推移

期中における取引先媒体の精査の影響はありつつも、営業利益は過去最高を更新。

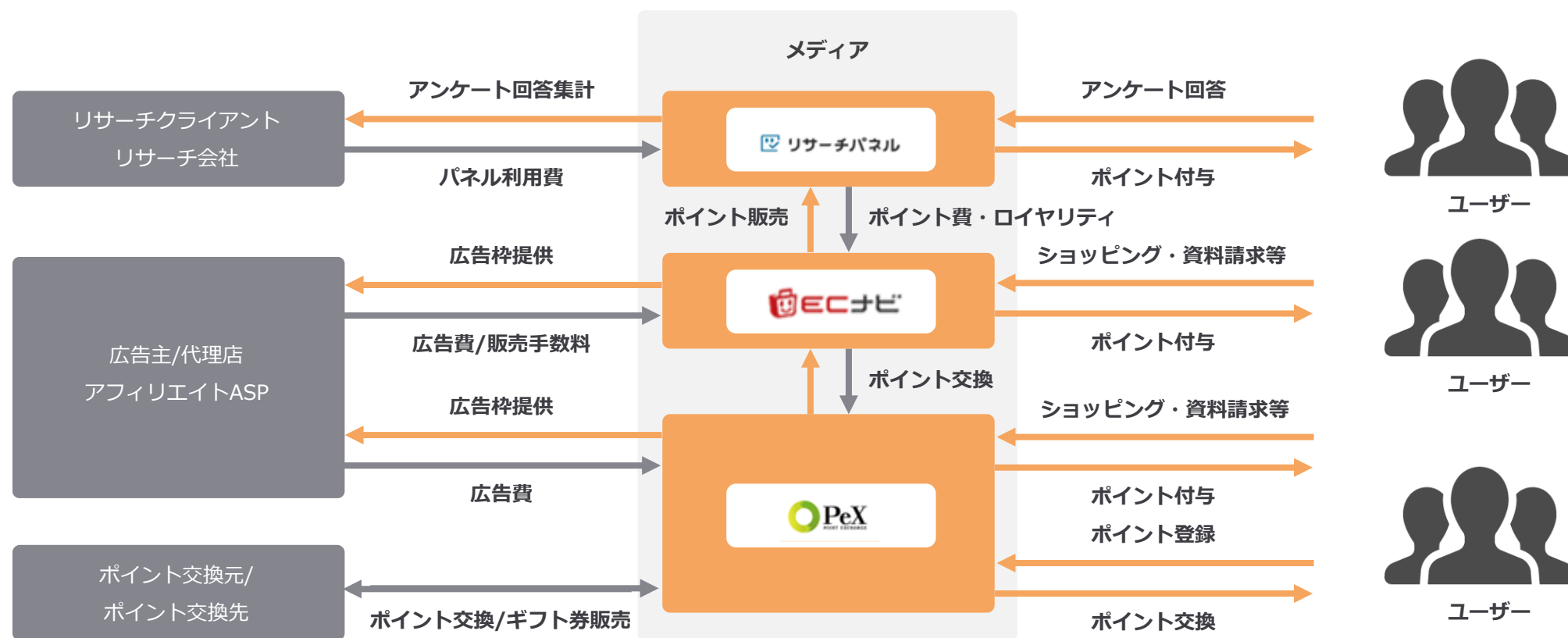
(百万円)



ポイントメディア事業

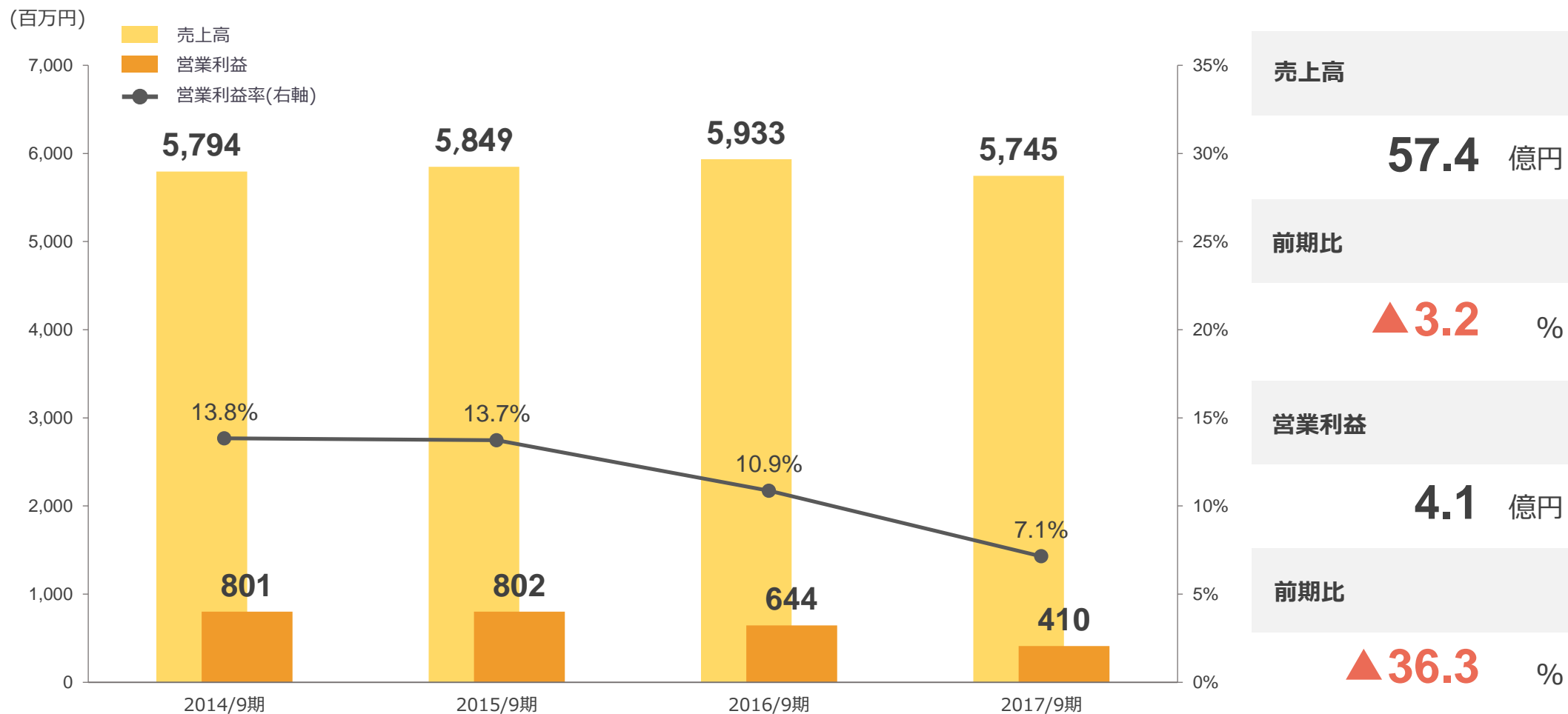
ポイントメディア事業のビジネスモデル

ユーザーはアンケート回答やネットショッピングの金額等に応じて無料でポイントを貯められ、それを様々な特典に交換可能に。一方で当社は、広告主サイトへの送客による広告収益やアンケート回答によるリサーチ収益が主な売上に。



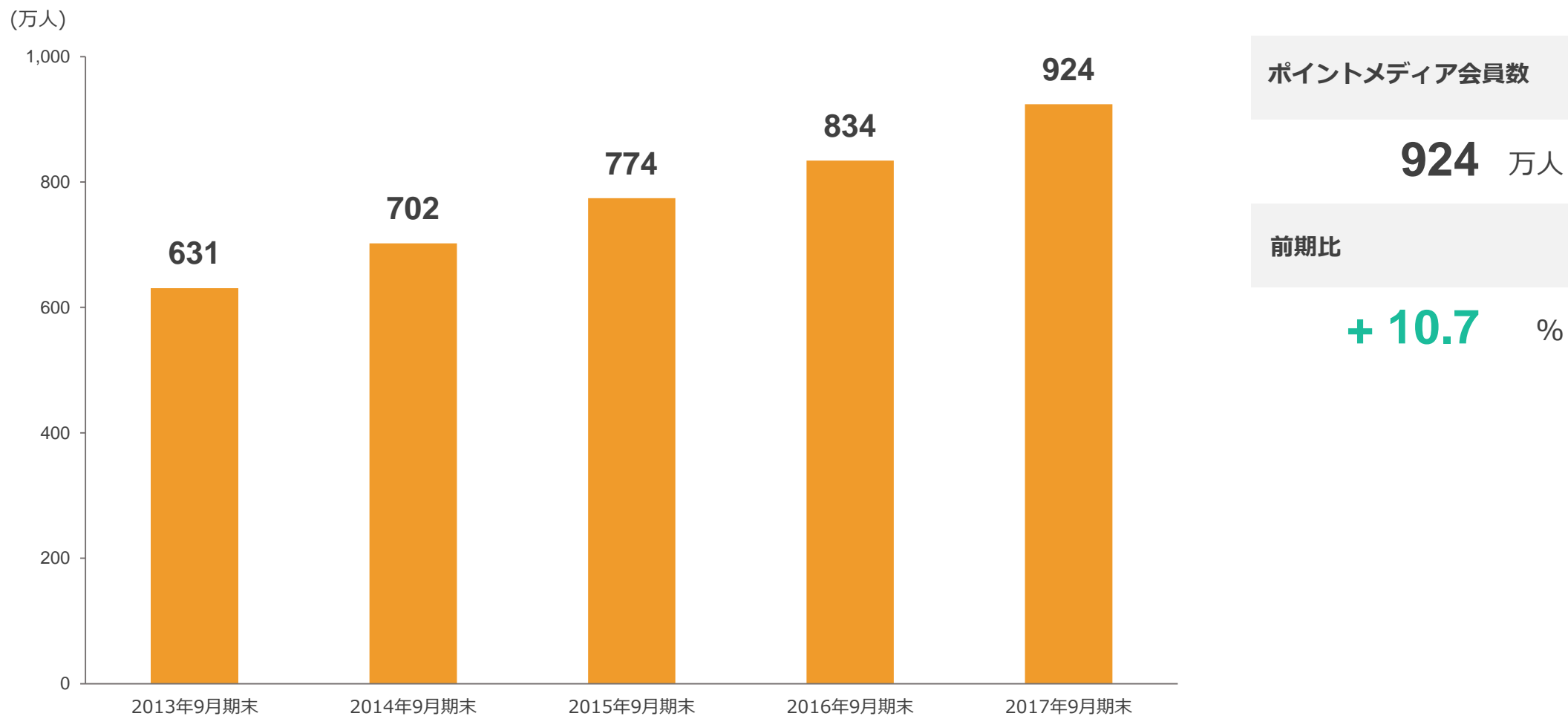
ポイントメディア事業 業績推移

サービスのスマホシフト及びコスト削減を進めるも前期比では減収減益。
売上総利益率の高い商材の不調が響く。



ポイントメディア会員数 期末推移

ポイントメディアののべ会員数は、前期比で90万人増（10.7%増）の924万人に。



※各期末時点でのECナビ、PeX及びリサーチパネルの会員数の合算となります。

インキュベーション事業

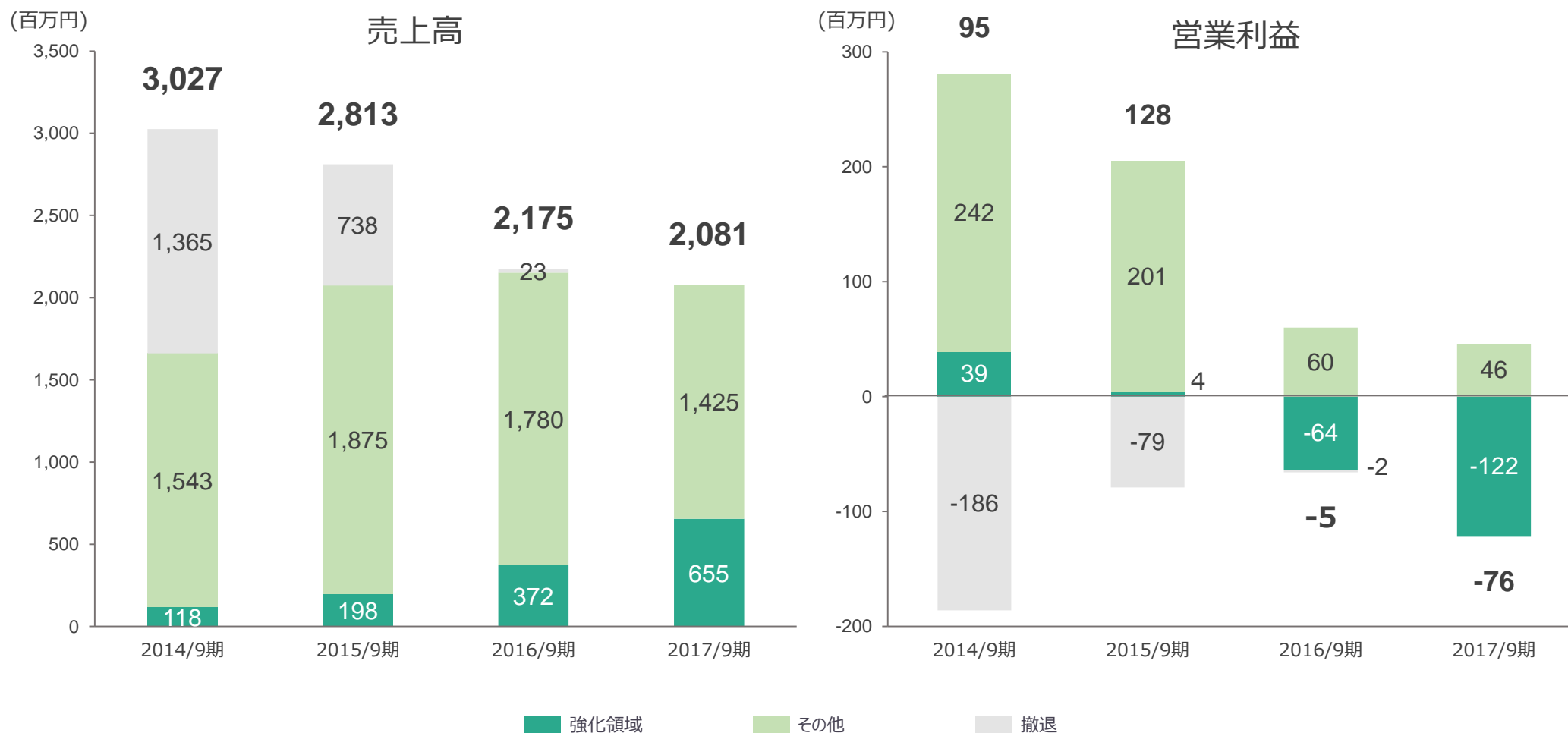
インキュベーション事業概要

アドプラットフォーム事業、ポイントメディア事業に続く、第三の柱となる事業を積極的に開拓。

領域		事業/サービス名	主な事業内容
強化領域	HR領域	新卒採用支援事業 (株式会社サポーターズ)	就職活動支援サービス「サポーターズ」の運営
	EC領域	単品通販事業 (株式会社ゼノシス)	通販化粧品の企画・販売
		家事支援サービスのネット販売事業 (株式会社VOYAGE NEXUS)	イオングループのカジタク社が提供する家事支援サービスの公式オンラインショップ「Kajitaku.com」などの企画・運営
	FinTech領域	FinTech室 (株式会社VOYAGE GROUP)	FinTech関連事業の開発、FinTechファンドの運営
その他		ギフトオンデマンド事業 (株式会社VOYAGE MARKETING)	各種デジタルギフト券を後払いで即時提供するサービス
		ゲームパブリッシング事業 (株式会社VOYAGE SYNC GAMES)	「三国双舞」など海外ゲームアプリの国内パブリッシング
		メディア事業 (株式会社VOYAGE GROUP、株式会社メルメディア)	「コトバンク」、「マンガペディア」などのメディア運営
		ベンチャーキャピタル事業 (株式会社VOYAGE VENTURES)	インターネット関連企業への投資及び事業拡大支援

インキュベーション事業 業績推移

強化領域（HR、EC、FinTech）において、人材採用、グループ内異動及びプロモーション等の積極的な先行投資を実施。



アジェンダ

01		2017年9月期 連結決算の概要	P 3
02		主要事業の概況	P 17
03		中期経営目標	P 31
04		2018年9月期 連結業績予想	P 37
05		参考資料	P 41

中期経営目標（2020年9月期）

売上高 420億円
営業利益 30億円
当期純利益 18億円
配当性向 20%
の達成に向けて

アドプラットフォーム事業

売上高
2017/9期 183億円 → 2020/9期 300億円

ポイントメディア事業

売上高
2017/9期 57億円 → 2020/9期 80億円

インキュベーション事業

売上高
2017/9期 20億円 → 2020/9期 40億円

中期経営目標達成に向けての重点施策

■ アドプラットフォームの徹底強化、シェア拡大

- 新しい広告配信フォーマットへの対応やデバイス対応、データを活用した配信アルゴリズムの改善、アドクラウド対策等を進め、プラットフォームとしての競争力を強化していく。
- サプライサイドの「fluct」においては、アプリメディアの新規開拓の強化、大規模メディアとの関係強化、既存取引先メディアにおける取引シェアの拡大等を推進していく。
- デマンドサイドの「Zucks」においては、営業・開発・メディア開拓の連携を強化し、顧客数の向上、顧客単価の向上を進めていく。「CMeTV」においては、サイネージなどの独自の配信面を強化するとともに顧客単価の向上、リピート率の向上を進めていく。

■ ポイントメディア事業の構造改革、再成長軌道へ

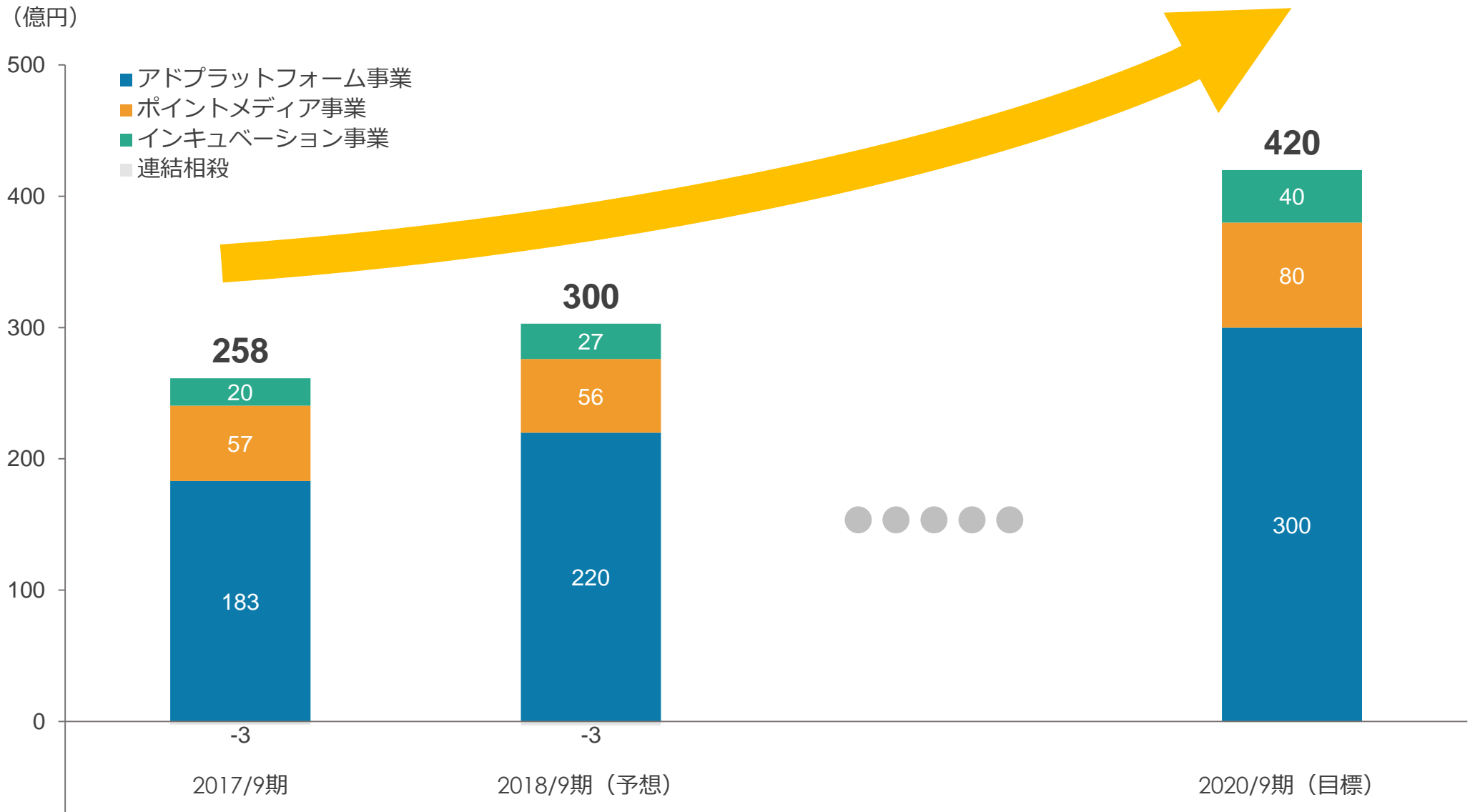
- スマホシフトに引き続き取り組む。
- ユーザーへのポイント還元率の見直しやコスト削減など抜本的な構造改革を実施していく。

■ 第三の事業領域の確立

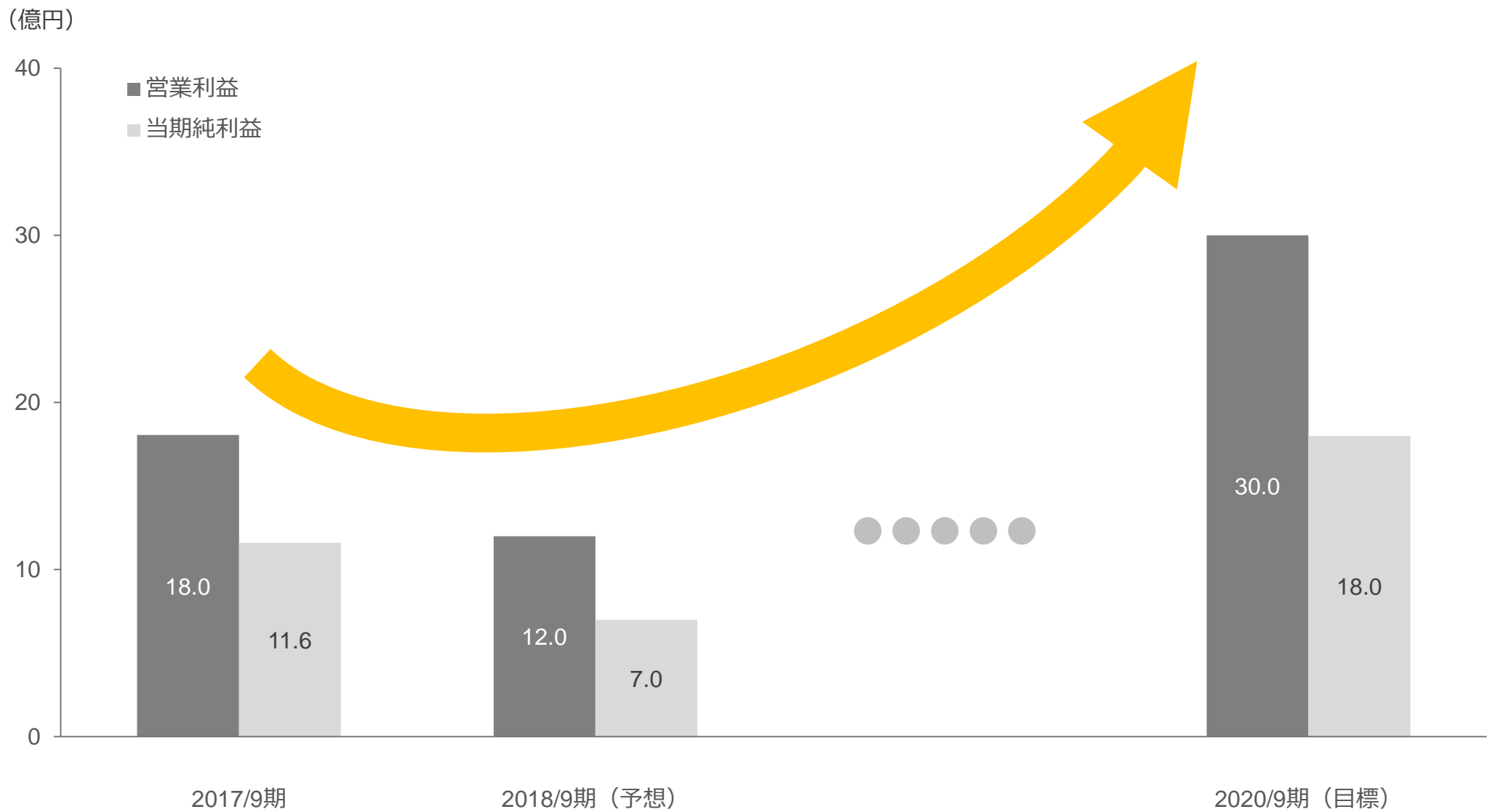
- 強化領域であるHR、EC、FinTechにおいて重点的に事業開発及び積極的なプロモーションを進めていく。
- ネット領域における事業開発のノウハウを活用し、非IT企業とのアライアンスを強化していく。

上記を早期に実行すべく、一層の採用強化、グループ内人材の最適配置に着手。

中期経営目標（売上高内訳）



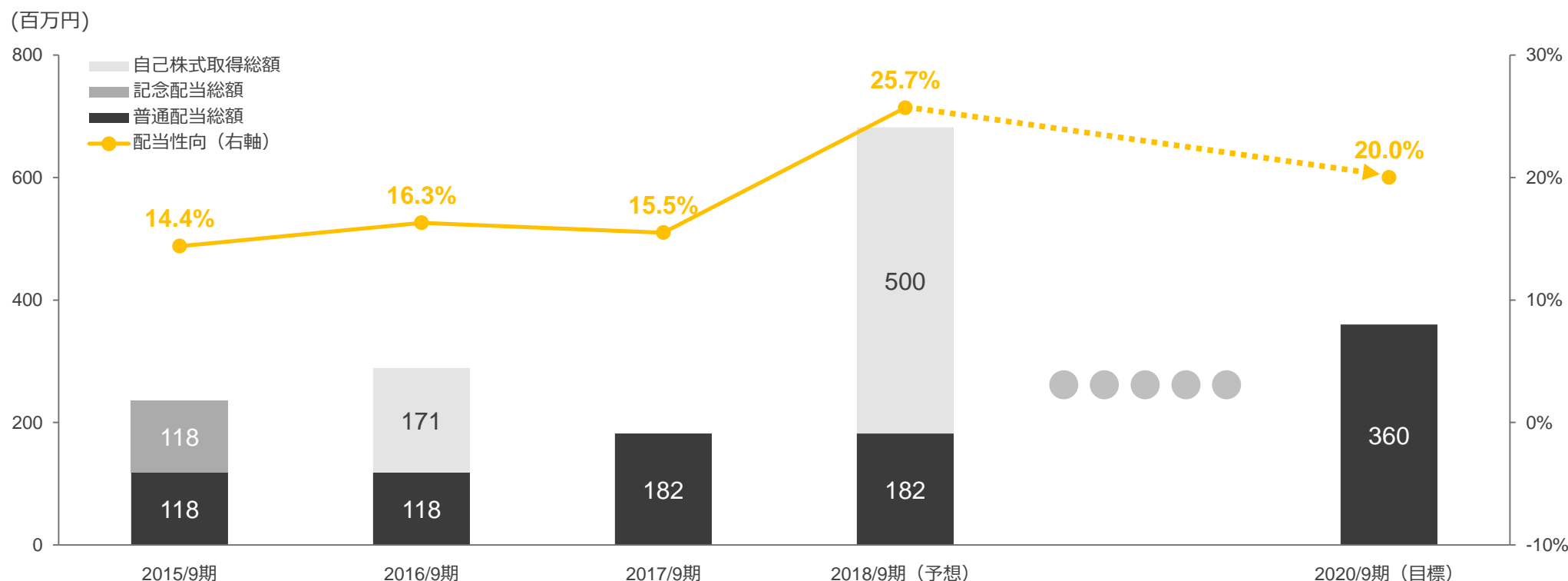
中期経営目標（営業利益・当期純利益）



株主還元方針について

株主還元の基本方針

当社では株主への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、事業成長や資本効率の改善等による中長期的な株主価値の向上に努めるとともに、継続的な配当及び機動的な自己株式取得を実施していくことを株主還元の基本方針としております。配当額については、連結業績、単体の資金繰り等を考慮した財務の健全性、将来の事業展開のための内部留保等を総合的に勘案して決定し、2020年9月期での配当性向20%を中期経営目標の一つといたします。



アジェンダ

01		2017年9月期 連結決算の概要	P 3
02		主要事業の概況	P 17
03		中期経営目標	P 31
04		2018年9月期 連結業績予想	P 37
05		参考資料	P 41

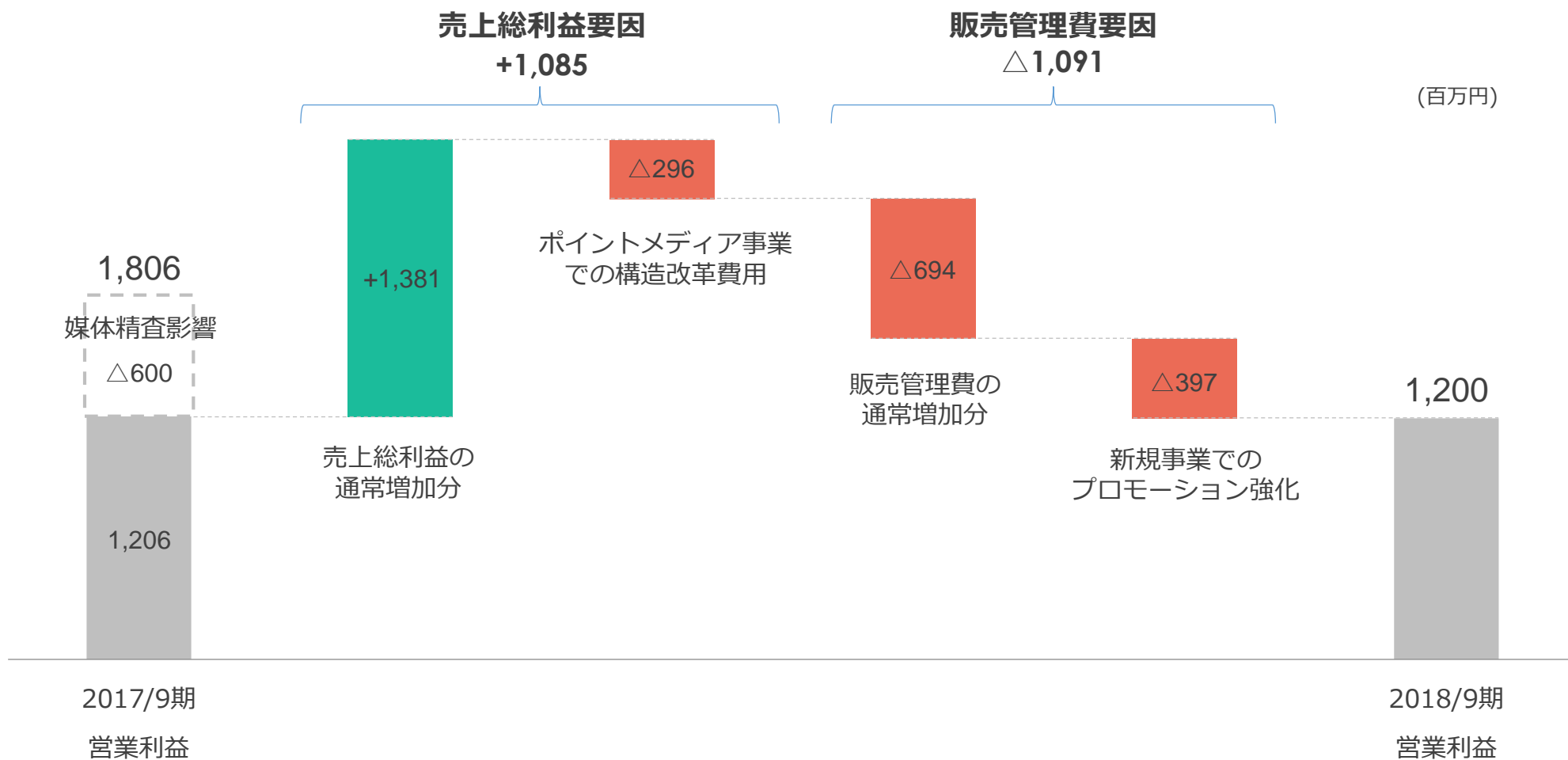
2018年9月期 連結業績予想

(百万円)

	2017年9月期 実績	2018年9月期 業績予想	前期比
売上高	25,895	30,000	+ 15.9%
営業利益	1,806	1,200	△33.6%
経常利益	1,861	1,200	△35.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,161	700	△39.7%
EPS	96.90	58.40	—
1株当たり配当額	15.00	15.00	—

2018年9月期 営業利益予想の設定背景

前期営業利益から期中における媒体精査による売上総利益の剥落分の影響を除いた額に対して、事業成長及びポイントメディア事業での構造改革により売上総利益は10.8億円の増加を見込む。一方で、販売管理費は通常増加分に加えて新規事業でのプロモーション強化により10.9億円の増加を見込んでいることから、営業利益の業績予想を12億円とした。



2018年9月期 株主還元について

配当予想

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	第2四半期末	期末	合計		
2017年9月期	0.00円	15.00円	15.00円	182百万円	15.5%
2018年9月期 (予想)	0.00円	15.00円	15.00円	—	25.7%

自己株式の取得及び消却

5億円を上限に自己株式取得を実施し、取得した自己株式の全数を消却予定。(7ページ参照)

株主優待

毎年第2四半期末(3月31日)及び期末(9月30日)時点で1单元(100株)以上を保有されている株主様を対象に、デジタルギフトサービス「ギフピー」(<http://gifpy.jp/>)においてご利用可能なギフトコード1,000円相当を贈呈。発送の時期は、第2四半期末(毎年6月下旬)及び期末(毎年12月下旬)の年2回を予定。



ギフピー

各種ポイント・電子マネーに交換できる大変便利なデジタルギフトコードです。以下の3種類のデジタルギフトを選んで、好きな商品に交換できます。

amazon.co.jp
ギフト券

iTunes
ギフト券

PeX
POINT EXCHANGE

※PeXは、各種サービスから選んでポイントを交換できる総合ポイント交換サービスです。交換先は、Tポイント、ANA・JALのマイル、Suicaポイント、楽天Edy、Web Money、WAONポイント、nanacoポイントなどさまざま。国内全銀行に、ポイントを現金として振り込むことも可能です。

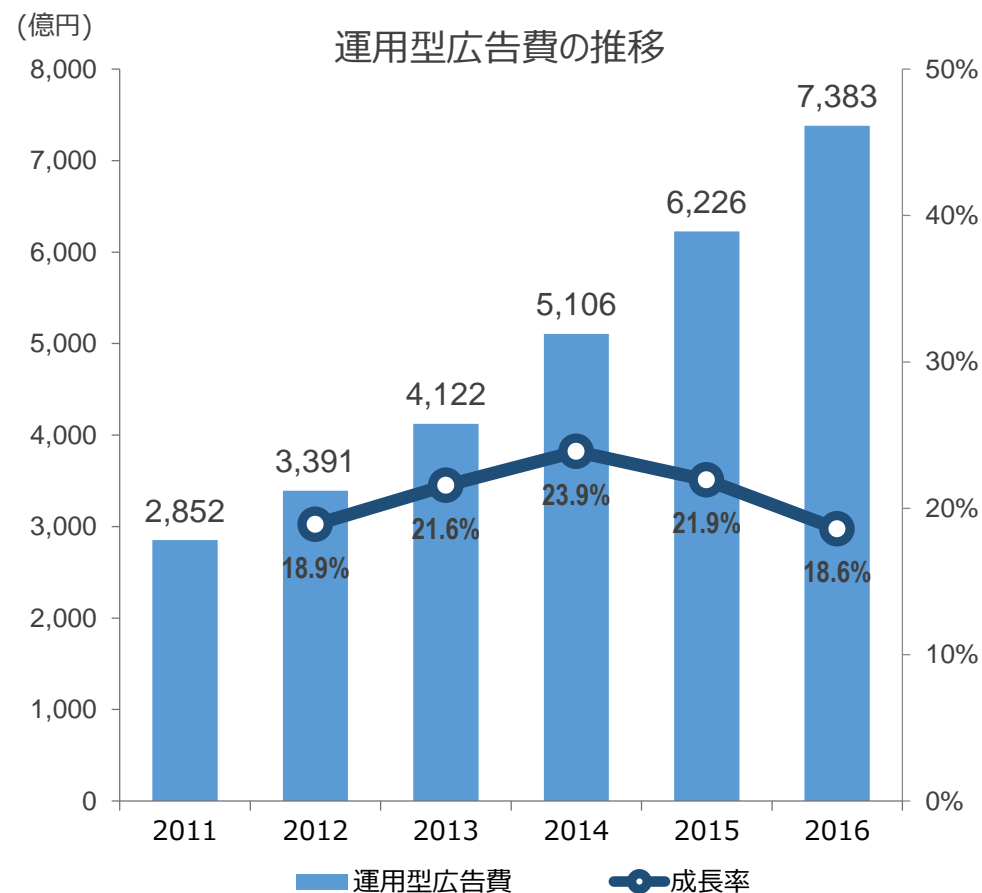
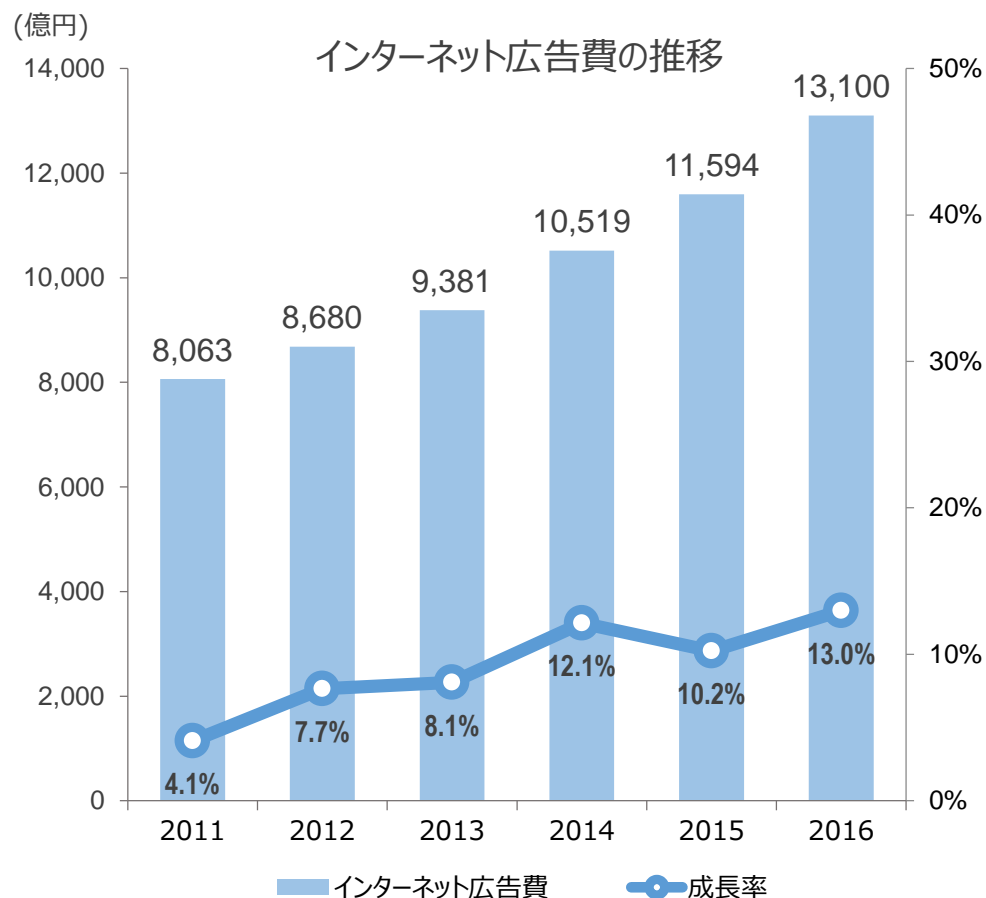
アジェンダ

01		2017年9月期 連結決算の概要	P 3
02		主要事業の概況	P 17
03		中期経営目標	P 31
04		2018年9月期 連結業績予想	P 37
05		参考資料	P 41

市場環境

国内インターネット広告市場

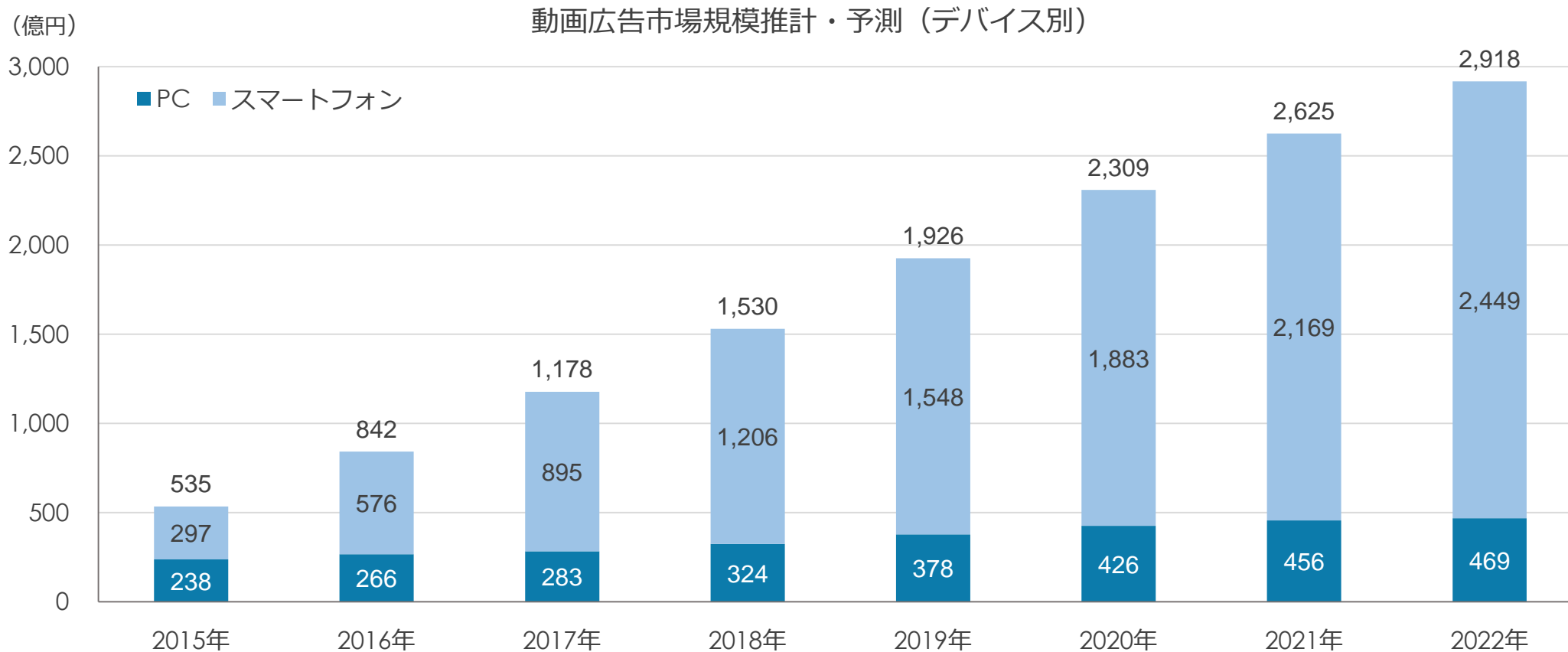
国内インターネット広告市場は順調に拡大。2016年は前年比13%増の1兆3,100億円に。うち運用型広告費は、前年比18.6%増の7,383億円に拡大。



出所：株式会社電通「2016年 日本の広告費」より

国内動画広告市場

国内動画広告市場は、スマートフォン向けを中心に急速な立ち上がりを見せ、2016年は2倍弱の576億円に。

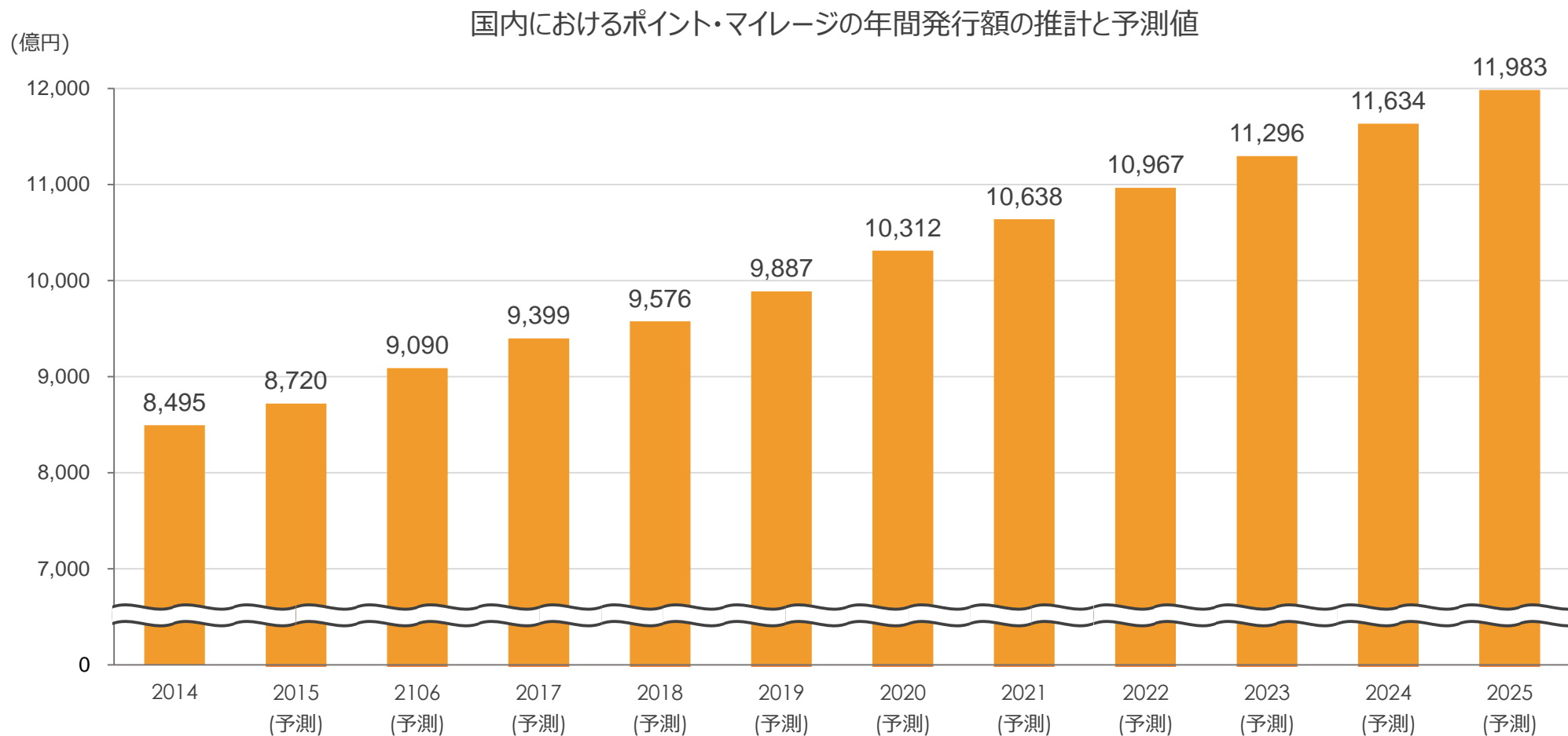


オンラインビデオ総研/デジタルインファクト調べ (2016年11月9日公表)

(Copyright © CyberAgent, Inc. All Rights Reserved.)

国内ポイント市場

日本のポイント・マイルの発行額は順調に拡大しており、2020年に1兆円超えと予測。



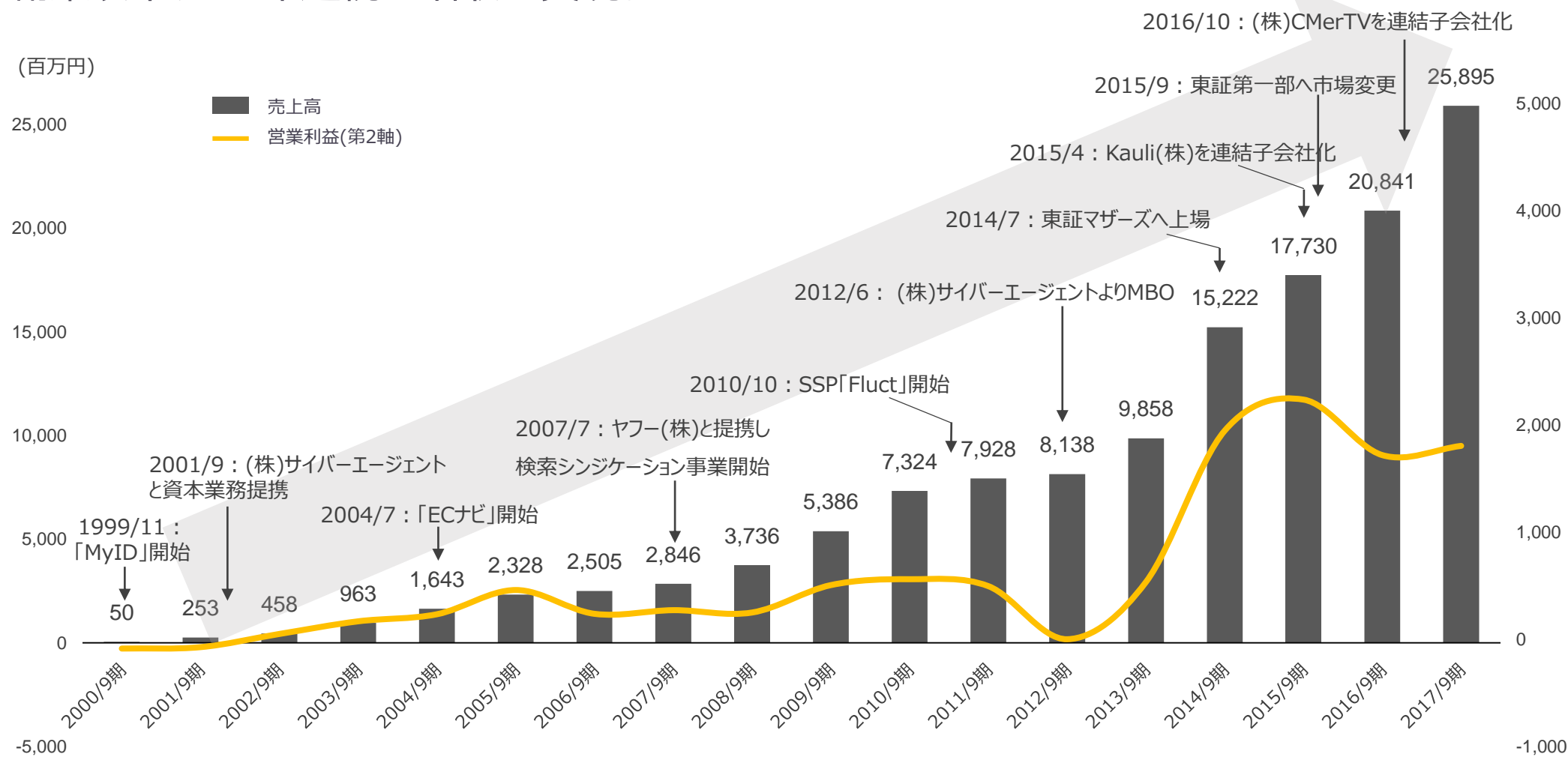
株式会社野村総合研究所調べ(https://www.nri.com/jp/news/2016/161005_1.aspx)より、当社分析加工。

会社概要








社名	株式会社VOYAGE GROUP
設立	1999年10月8日
資本金	1,059百万円（2017年9月末現在）
事業内容	アドプラットフォーム事業、ポイントメディア事業、インキュベーション事業
連結従業員数	317人（2017年9月末現在）* 臨時雇用者含めない

創業以来、18年連続で増収を実現。



※2005年9月期は決算期変更による3ヶ月の変則決算となっているため、過去に遡及して1年単位となるように補正しています。

主要グループ企業一覧 <連結子会社>

セグメント区分	会社名		持分比率	主な事業内容
アドプラットフォーム事業	株式会社CMerTV		59.5%	動画アドプラットフォーム「CMerTV」の運営
アドプラットフォーム事業	株式会社fluct		100.0%	媒体社向けアドプラットフォーム「fluct」の運営
アドプラットフォーム事業	株式会社intelish		51.0%	デジタルエージェンシー事業
アドプラットフォーム事業	株式会社Zucks		100.0%	スマートフォン向けアドプラットフォーム「Zucks」の運営
ポイントメディア事業	株式会社VOYAGE MARKETING		100.0%	ポイント交換プラットフォーム「PeX」の運営、ポイントソリューション事業
ポイントメディア事業	株式会社リサーチパネル		60.0%	アンケートモニターサイト「リサーチパネル」の運営
インキュベーション事業	株式会社VOYAGE NEXUS		100.0%	家事支援サービスのネット販売事業
インキュベーション事業	株式会社VOYAGE SYNC GAMES		80.0%	ゲームパブリッシング事業
インキュベーション事業	株式会社VOYAGE VENTURES		100.0%	未上場インターネット関連ベンチャー企業への事業拡大支援、企業価値向上支援、投資
インキュベーション事業	株式会社サポーターズ		100.0%	就職活動支援サービス「サポーターズ」の運営
インキュベーション事業	株式会社ゼノシス		100.0%	通販化粧品企画・販売
インキュベーション事業	株式会社メルメディア		65.0%	コンテンツメディア事業

2017年10月25日現在。

主要グループ企業一覧 <持分法適用関連会社>

会社名		持分比率	主な事業内容
株式会社SYNC GAMES		20.3%	スマートフォン向けゲーム関連事業
VENTENY PTE. LTD.		47.8%	新興国における従業員向けレンディングサービス事業
株式会社ドウ・ハウス		22.3%	クチコミプロモーションおよび定性情報リサーチのサービス提供
株式会社マーケティングアプリケーションズ		20.1%	オンラインマーケティングリサーチ事業
株式会社メディア・ヴァーグ		26.7%	交通にまつわるコンテンツメディア「乗りものニュース」等の運営
ログリー株式会社		22.6%	ネイティブ広告プラットフォーム「logly lift」の運営

50音順。2017年10月25日現在。

直近の主なリリースおよび掲載実績

2017年10月3日	【プレスリリース】	カジタク社×VOYAGE NEXUS、家事の宅配サービス「カジタク」をリニューアルし、利便性向上
2017年9月27日	【プレスリリース】	国盗りボードゲーム「三国志ダイス」配信開始！レアアイテムなどを獲得できる3大イベントを開催
2017年9月25日	【プレスリリース】	ECナビ経由のショッピングがずーっとお得に大刷新！全ショップポイント獲得数大幅アップ！
2017年9月14日	【ポイ探】	VOYAGE MARKETING、PeXポイントで投資を疑似体験できる「PeX投資」を開始
2017年9月14日	【payment navi】	貯まったPeXポイントで投資を疑似体験することができる新サービス開始
2017年9月14日	【プレスリリース】	VOYAGE MARKETING、PeXポイントで投資を疑似体験できる「PeX投資」開始
2017年9月8日	【プレスリリース】	サポーターズ、無料レンタルスペースを備えた新オフィスをオープンし、事業成長を促進
2017年9月7日	【プレスリリース】	VOYAGE GROUPとSV FRONTIER、SV-FINTECH Fundを通じゼネリックソリューション社に投資
2017年8月28日	【Social Game Info】	VOYAGE SYNC GAMES、フル3DMMOアクションRPG『西遊伝説』を配信開始 リリースを記念したキャンペーンも開催
2017年8月28日	【プレスリリース】	VSG、西遊記が舞台の爽快フル3DMMOアクションRPG「西遊伝説」の配信開始
2017年8月23日	【日経産業新聞6面】	サイバーとシステム連携、VOYAGE、広告配信を効率化
2017年8月22日	【Social Game Info】	VOYAGE GROUP、SSP「fluct」がサイバーエージェントの「AmebaDSP」とスマホメディアのインフィード型ネイティブ広告のRTB取引を開始
2017年8月21日	【プレスリリース】	SSP「fluct」、AmebaDSPと接続し、ネイティブ広告のRTB取引を開始
2017年8月18日	【Markezine】	SSP「fluct」、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」と連携 広告配信量を拡充
2017年8月17日	【プレスリリース】	SSP「fluct」、Bulbit社が運営する全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」と連携開始
2017年8月16日	【日経産業新聞12面】	ネット人材輩出企業（下）サイバーエージェント一任す文化、挑戦心を醸成
2017年8月15日	【APPBANK】	西遊記をモチーフにした爽快フル3DアクションRPG『西遊伝説』登場！事前登録で孫悟空をGET
2017年8月2日	【プレスリリース】	VOYAGE VENTURES、「AOSSMS」や「InCircle」など、B2Bモバイルコミュニケーションサービスを展開するAOSモバイル社に出資
2017年7月31日	【Social Game Info】	VOYAGE SYNC GAMESとSelvas、フル3Dガンシューティングゲーム『GUN FIRE』の配信を開始
2017年7月31日	【プレスリリース】	VSG、フル3Dガンシューティングゲーム「GUN FIRE」正式配信開始！
2017年7月25日	【プレスリリース】	VOYAGE GROUP、持分法適用関連会社Momentum社の全株式をSyn.ホールディングス社に譲渡
2017年7月18日	【プレスリリース】	VOYAGE GROUPとSV FRONTIER、SV-FINTECH Fundを通じアイ・ティ・リアライズ株式会社へ投資
2017年7月3日	【日経ビジネスP35】	失敗しないスタートアップ 押さえるべき投資のツボ ボヤージュグループ宇佐美進典

IRに関するお問い合わせ

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申し込みは、広報・IR室までお願いいたします。

お電話によるお問い合わせ

03-5459-4226

メールによるお問い合わせ

ir@voyagegroup.info

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

また2013年9月期3Q以前の数値は、当社内部管理資料に基づく数値となります。